

第4回年会プログラム（以下、敬称略）

第1日目 1月24日

13:10 はじめに 年会世話人よりの挨拶

13:15 大島泰郎学会長からのご挨拶

セッションⅠ 植物とポリアミン(1)

座長：西村 和洋

1P-01. (13:20~13:35)

トマトの根に含まれる *N*-メチルポリアミンの検出と同定

○山崎健一¹、長瀬瑛美¹、加藤洋介¹、高尾浩一¹、浜名康栄²、新津勝¹

(¹城西大・薬学部、²前橋工大・工学部)

1P-02. (13:35~13:50)

SAC51 mRNA はサーモスペルミン及びリボソームタンパク質の変異により安定化する

○懸樋潤一，河野恵理，本瀬宏康，高橋卓（岡山大・院・自然科学）

1P-03. (13:50~14:05)

シロイヌナズナの *SAC51* 遺伝子はサーモスペルミンにより翻訳が促進される

○高橋卓，高野綾香，石塚壮一，石井菜水，懸樋潤一，本瀬宏康

(岡山大・院・自然科学)

セッションⅡ 好熱菌とポリアミン

座長：新津 勝

1P-04. (14:05~14:20)

高度好熱菌 *Calditerricola satsumensis* YMO81 のポリアミン組成

○森屋利幸¹、照井祐介²、大島泰郎¹（¹共和化工・環境微研、²千葉科学大・薬）

1P-05. (14:20~14:35)

高度好熱菌 *Thermus thermophilus* の sym-homospermidine 合成系：補足実験

○大島泰郎（共和化工・環境微生物研）

1P-06. (14:35~14:50)

超好熱性アーキアにおける長鎖・分岐鎖ポリアミンの生合成経路

岡田和真¹，秀瀬涼太^{1,2}，大島泰郎³，○藤原伸介^{1,2}

(¹関西学院大・理工，²関西学院大・理工・生命環境セ，³共和化工株式会社)

休憩 (14:50~15:10)

セッション III 発生・分化とポリアミン

座長：高橋 卓

1P-07. (15:10~15:25)

アフリカツメガエル胞胚の帯域の発生、及び中胚葉誘導に対するポリアミンの作用

○高井惇一, 近藤剛士, 三品尊道, 塩川光一郎 (帝京大学大学院理工学研究科)

1P-08. (15:25~15:40)

アフリカツメガエルの胞胚腔に注入した Activin A の後方化作用に対するポリアミンの影響

○三品尊道¹、淵向孝太¹、高橋宣治¹、五十嵐一衛²、田代康介³、塩川光一郎^{1, 4}

(¹帝京大・理工・バイオサイエンス、²千葉大・薬、³九州大学・農学部、⁴帝京大・医療技術学部・柔道整復学科)

セッション IV がんとポリアミン

座長：松藤 千弥

1P-09. (15:40~15:55)

胃癌および悪性リンパ腫の化学療法と尿中 N¹, N¹²-ジアセチルスペルミン

○平松 恭子¹, 下山 達², 斎藤 文江¹, 高浜 恵美¹, 岩崎 香里¹, 森谷 俊介¹,
前田義治², 川喜田 正夫¹

(¹東京都医学研・分子医療, ²がん・感染症センター都立駒込病院・化学療法科)

1P-10. (15:55~16:10)

新規アセチルポリアミンオキシダーゼ、スペルミンオキシダーゼ阻害剤

○森谷俊介, 鮫島啓二郎, 岩崎香里, 伊部一星, 平松恭子, 川喜田正夫

(都医学研・ゲノム医科学・分子医療)

(休憩) コーヒーブレイク (16:10~16:30)

特別講演 16:30~18:15

1. 藤田美紀先生 (理化学研究所・植物科学センター) 座長 柏木 敬子
パラコート耐性研究から見出された植物ポリアミントランスポーター

2. Anthony J. Michael 先生 (テキサス大学・サウスウエスタン医学センター)
座長 岡 孝己
The evolution and diversity of polyamine metabolism and its roles in bacterial growth and physiology

3. 神尾好是先生 (東北大学・大学院生命科学研究科) 座長 五十嵐 一衛
Molecular basis for the maintenance of cell envelope integrity in *Se/enomonas ruminantium* which possesses cadaverine as an essential constituent of the peptidoglycan and the regulation of the biosynthesis of cadaverine

懇親会 (18:30~)

第2日目 1月25日

セッションV ポリアミンの機能

座長： 藤原 伸介

2A-11. (9:00~9:15)

翻訳因子 eEF1A のポリアミンによる蛋白質合成促進機構の解明

○笠原拓馬¹, 照井祐介¹, 吉田健人¹, 坂本明彦¹, 富取秀行², 五十嵐一衛^{3,4},
柏木敬子¹ (¹千葉科学大・薬学部, ²神奈川工科大・応用バイオ科学部, ³アミンファ
ーマ研究所, ⁴千葉大院・薬)

2A-12. (9:15~9:30)

細胞周期進行におけるポリアミンの機能解析

山下智子¹, 西村和洋¹, 斎木遼太郎^{1,2}, 奥平宏之¹, 當銘真悠子¹, 東恭平¹,
照井祐介³, 藤原邦雄⁴, ○柏木敬子³, 五十嵐一衛^{1,2} (¹千葉大大学院・薬学研究院,
²株式会社アミンファーマ研究所, ³千葉科学大・薬学部, ⁴崇城大学・生物生命学部)

2A-13. (9:30~9:45)

マスト細胞の顆粒形成に対するポリアミンの影響

○芝山徹¹, 西村和洋¹, 清水公德², 山口正視², 東恭平¹, 田中智之³, 戸井田敏彦¹,
五十嵐一衛^{1,4} (¹千葉大・院薬学, ²千葉大・真菌医学研究センター, ³岡山大・院
医歯薬学総合, ⁴アミンファーマ研究所)

セッションVI ポリアミン代謝産物の機能

座長： 川喜田 正夫

2A-14. (9:45~10:00)

GAPDH を介したアクロレイン毒性機序の解明

○中村瑞穂¹、富取秀行²、鈴木健裕³、照井祐介¹、斎木遼太郎^{4,5}、堂前直³、
五十嵐一衛^{4,5}、柏木敬子¹ (¹千葉科学大・薬学部、²神奈川工科大・応用バイオ
科学部、³理化学研究所・バイオ解析チーム、⁴千葉大学大学院・薬学研究院、⁵株式
会社アミンファーマ研究所)

2A-15. (10:00~10:15)

アセトアルデヒドは、スペルミンオキシダーゼを転写レベルで誘導する

○植村武史¹, 東恭平², 戸井田敏彦², 五十嵐一衛³, 池谷博¹
(¹京都府立医大・法医, ²千葉大院・薬, ³(株)アミンファーマ研究所)

2A-16. (10:15~10:30)

ポリアミン経口摂取による全身賦活効果の検討

○渡邊卓巳¹, 土井淳司², 藤本康弘², 坂野綾子¹, 寺谷 工²

(¹コンビ株式会社, ²自治医大・先端治療開発部門)

コーヒーブレイク (10:30~10:50)

セッションVII アンチザイム・アプタマー

座長：塩川 光一郎

2A-17. (10:50~11:05)

アンチザイム1ノックアウトマウスにおける胎仔期造血幹細胞の評価

○大城戸真喜子¹, 原孝彦², 松藤千弥¹

(¹慈恵医大・医学部, ²東京都医学研・幹細胞プロジェクト)

2A-18. (11:05~11:20)

アンチザイム2によるc-Mycの分解促進機構とその意義

○村井法之, 村上安子, 松藤千弥

(慈恵医大・医学部)

2A-19. (11:20~11:35)

スベルミンに結合するRNAアプタマーの結合様式のNMR法による解析

○柳田明日美¹, 藤枝裕大¹, 小黒明広², 松藤千弥², 河合剛太¹

(¹千葉工大・工, ²慈恵医大・分子生物)

セッションVIII 植物とポリアミン(2)

座長：大城戸 真喜子

2A-20. (11:35~11:50)

シロイヌナズナのポリアミン酸化酵素は全て逆変換反応を触媒する

○村山千尋¹, 金東煜¹, 新津勝², 神尾好是¹, Berberich Thomas³, 草野友延¹

(¹東北大院生命, ²城西大薬, ³BiK-F)

2A-21. (11:50~12:05)

スベルミンは熱ショック関連遺伝子群の発現を高めることによりシロイヌナズナを熱ショック傷害から保護する

○Sagor GHM¹, Berberich Thomas², 高橋芳弘¹, 新津勝³, 草野友延¹

(¹東北大院生命, ²BiK-F, ³城西大薬)

昼食 (12:05~13:00)

評議員会 (12:05~13:00; 会場 :)

総会 (13:00~14:00)

閉会のあいさつ